

# 新成人の決意

## 晴れやかに 大槌町成人式

1月7日(日)、大槌町城山公園体育館において、平成30年大槌町成人式が行われ、新成人114名のうち、93名が出席しました。

新成人を代表して、盛岡大学2年の佐々木紘也さんは、「中学一年生のときに発生した東日本大震災津波で、私達は大切な友人を二人亡くしました。突然の悲しい出来事に打ち

1 抱負を述べる  
佐々木紘也さん  
2 代表5名による  
町民憲章唱和



ひしがれていた私たちを正面から受け止めてくださった家族、先生方がいなくては今の私達はいません。また、あれから約七年が経とうとし、復興の槌音が響く新しい町は、決して大槌町民だけで創られてきたものではありません。支えられ助けられてばかりだった私達ですが、これからは経験してきたことを全て活かし、故郷大槌に大きく貢献していきます。」と誓いを述べました。式典では、東日本大震災津波で犠牲になった佐々木悠真さん、川崎千香さんの2名の写真が、同級生の手で抱かれ、共に新成人席に並びました。

平野町長は、式辞の中で「自らの感性を磨いて、さらに成長して行ってほしい」と新成人を激励しました。

成人式実行委員の皆さんが進行役をつとめた第2部のアトラクションでは、大槌高校吹奏楽部と大槌ウインドオーケストラが新成人を祝って演奏。また東北楽天ゴールデンイーグルスに所属し、新成人と同学年にあたるオコエ瑠偉選手から、激励のメッセージが届き、紹介されました。小中学校時代の思い出の写

3 大槌高校とウインドオーケストラのステージ  
4 サプライズで登場した恩師  
5 会場を沸かせたスライドショー



真を集めたスライドショー上映では、次々と映し出される子ども頃の姿に、恥ずかしさの混じる大歓声が響き渡りました。

ラストでは、新成人の恩師である、中川恵先生、下村智徳先生、杉浦学先生、山蔭深恵先生がサプライズゲストとして壇上に登場。「苦しい経験をしたかもしれないけれど、乗り越えてきた。これからも頑張ってください」「みんなのエネルギーを、大事な人のため、大槌のために使ってほしい」と言葉を贈りました。

